

十勝障がい者就業・生活支援センターだいち



だいち通信 vol. 55

平成26年11月7日発行

〒080-0016 帯広市西6条南6丁目3番地ソネビル2F

TEL/FAX (0155)-24-8989

E-mail shien-daichi@ymail.plala.or.jp

URL <http://www5.plala.or.jp/shien-daichi/index.html>

JC-NET ジョブコーチセミナー in 帯広 2014

「働き続けたい」を支えるために…

去る10月11日～12日、JC-NET ジョブコーチセミナーが開催されました。11日基礎研修には約140名、12日は定員を超過お申し込みがあり参加を御遠慮いただいた方、ご協力ありがとうございました。

1日目の基礎セミナー午前中は地元企画からスタート。当事者の方々の話を伺うことができ、改めて忘れてはならないご本人の気持ちを尊重する大切さを考えることができました。



「わかりやすく教える技術」
演習の一場面

アンケートでは「思いや体験から学ぶことが多かった」「働く原動力を考えられた」という声をいただきました。午後はジョブコーチの定義からジョブマッチング、支援方法など、就職につなげるための着目点や就職後の対応まで段階を追って学ぶ内容でした。福祉サービス担当者はもちろん、教育機関・企業の方にも参考になったというご意見をいただいております。



基礎セミナーの受講の様子

2日目の実践セミナーは講義で学んだことを掘り下げ、ロールプレイで体験していただく内容でした。特に「わかりやすく伝える技術」では言語指示、ジェスチャー、見本の提示、手添えと4階層に分け、理解度を確かめながら自立に導いていくという方法を体験しました。「そこまで意図的に関わっていなかった」「理解しているつもりでも実際にやってみると難しかった」という声が多く、課題分析や指示の階層はすぐに活かせるものと実感しました。セミナー後「企業営業で実践したい」「ご本人の様子の伝え方を意識できた」等の嬉しい報告をいただいております。

最後になりましたが、申し込みの際に、お手数をお掛けしましたが、皆さまのご協力に感謝申し上げます。

十勝の就労支援の力が高まり、ご本人の「働いて良かった」企業の「雇って良かった」の実現のために一歩前進できればと思っています。今後もより皆様に参加しやすく興味のあるテーマでスキル向上の一助を担えるように取り組んで参りますので、皆様のご参加をお待ちしています。

検討会議

参加報告

10月29日～30日に全道の障がい者就業・生活支援センター（以下センター）検討会議に参加してきましたので、ご報告申し上げます。

この会議は、北海道のセンターが一堂に会して、センターの機能を効率的かつ、効果的に運営するための全道的な体系作りをすることと、全道の就労系障害福祉サービス事業所やセンター職員のスキル向上の為の対策を検討することを趣旨として北海道保健福祉部主催で開催されたものです。

センターの機能に関しては皆様のご存じの通り、全国的にも全道的にもセンター自体の数が足りないことと、職員のマンパワーが不足していることからセンターの役割と機能の限界を地域に周知し、理解を求めて行くことが重要との意見が多く出ていました。市町村行政の人事異動後の担当者の方々や、新規で立ち上がった就労系の障害福祉サービス事業所や地域の相談支援事業所等には、随時センターの役割を周知していくことが必要と感じております。物理的な距離の遠さやマンパワーの不十分さを、既存の自立支援協議会及び就労支援部会で検討し、地域毎にふさわしい仕組みを考えていくことが必要であるといった意見も聞くことができました。十勝の場合は自立支援協議会と、十勝障がい者総合相談支援センターが主催している生活支援ネットワーク会議等を活用し続け、地域就労支援の気運を高めていくことが必要だと改めて感じました。

障害福祉サービス事業所やセンター職員のスキル向上に関しては、事前に北海道が行っている職員スキル向上に関するアンケート調査結果を確認しながら検討が行われました。全体的にスキル向上の機会を欲しているものの、普段の業務の時間を割いてまで研修に参加しづらい状況にある事業所の割合が多く、参加しやすい環境調整が必要と共有できました。十勝管内の皆様にはご無理を言って当センター主催の研修に多数ご参加頂いておりますのでこの場を借りてお礼申し上げます。今後とも、より皆様に参加しやすく興味のあるテーマでスキル向上の一助を担えるように取り組んで参ります。今後、北海道のアンケートを受け就労系の障害福祉サービス事業所の方々へ個別にお話を伺う機会を頂けるように検討しておりますので、その際はご協力頂ければと思います。

最後に、以前当センターの地域就労支援連絡会議で話題にあがった、就労系福祉サービス利用に係わるアセスメントについて（直接B型利用の課題について）、新しい具体的な情報を頂く事ができませんでした。北海道からも厚生労働省に質問をかけている様ですが、なかなか明確な回答がなく困っている状況がうかがえました。情報が入り次第お伝え致しますので今後ともよろしくお願い致します。

職・社・の・動

～就労支援者向け 就労支援スキルアップ講座～

『視点を変え、支援を変える』

◆支援を行う上では基礎となる視点や姿勢、技法がありますが、基礎に振

り返る機会も殆ど無く、人を支援する上では思い悩み、ジレンマを抱えながら支援を行うこともあるかと思います。本研修では就労相談・支援に関わる方々を対象として、ケアマネジメントを中心として、支援の基礎知識を始め、グループワーク形式も取り入れながら学び、議論しつつ日々の実践へと繋がる研修を目指しています。

<講師> 株式会社LITALICO 就労支援事業部総合企画グループ 精神保健福祉士/第1号ジョブコーチ
金納 健次郎 氏

<講習内容> 各回定員20名

日程	13:30~15:00	15:15~17:15	対象者
11/21(金)	■初任者スキルアップ研修 ・支援における基本的な姿勢と視点	■初任者スキルアップ研修 ・支援技法の基礎	・就労移行支援、就労継続支援における3年未満程度の支援スタッフ
11/22(土)	■企業と就労支援施設の連携 ・企業ニーズと障がい者雇用基礎知識	■企業と就労支援施設の連携 ・企業開拓研修(アクション)	・3年未満程度の支援スタッフ ・就労支援員など对企业支援に関わる者など

<講習会場> 帯広市西6条南6丁目3 ソネビル6F研修室 (0155-25-5321)

※各回、定員になり次第締め切りとなります。

詳細は、就労移行支援事業所等スキルアップ委託事業受付事務局 就労移行支援事業所ウイング札幌センターまで
(TEL:011-218-1490)

人の動き

だいちのスタッフに動きがありました。詳細は下記の通りです。

<だいちから異動>

帯広市自立支援相談支援センターふらっと

帯広市生活困窮者自立相談支援モデル事業として、生活にお困りの方(その当事者・家族・地域の方や関係機関)の相談支援と地域づくりを行うセンターです。

(モデル期間…H26.10.1~H27.3.31)

- ◆主任相談支援員 山口 芳伸
- ◆相談支援員 三浦 貴公

事務所は、ソネビル2Fのだいち事務所の向かいです。お問い合わせは、0155-20-7367(ふらっと)までご連絡ください。

※今までのだいちの業務は個別に相談下さい。ご利用の皆様にご迷惑のかからないように調整致します。

<北海道中小企業家同友会とたち支部
障害者問題オープンセミナー>

なぜ障がい者を雇う中小企業は業績を上げ続けるのか?

◆講師: 横浜市立大学 都市社会文化研究科
教授 影山 摩子弥氏

◆とき: 11/17(月) 19:00~21:00

◆ところ: とちか館 鳳凰の間(帯広市西6条南6丁目3)

◆会費: 500円 ※当日キャンセルは、会費を申し受けます。

中小企業の事例を交え、障害者雇用の観点からCSR(企業の社会的責任)を考えてひとりひとりが輝ける会社について学べる内容です。企業が雇い入れる際に生まれるメリットを知り、今後の支援に役立てましょう。

詳細は同友会事務局 担当 佐藤珠実様まで(0155-22-3611)

職員紹介

*就労相談員 千原 三友紀(ちはら みゆき)

自立相談支援センターふらっとに配属されました。入ったばかりで分からない事が多いですが、少しでも早く慣れるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。



だいちとふらっとの新しい職員をご紹介します。既存の職員ともども、よろしくお願い致します。

*就労支援ワーカー 片岡 直喜(かたおか なおき)
10月よりだいちでお世話になっています。新しい環境の中で学び勤める事は、緊張の連続ですが、頑張りたいと思います。

*障がい者雇用促進サポーター 作田 篤寛(さくた あつひろ)
6月よりだいちで勤務しております。企業の方へ障がい者雇用へのきっかけ作りをさせて頂いております。改めて、よろしくお願い致します。

*就労支援ワーカー 赤間 美奈子(あかま みなこ)
10月15日より、だいちで働く事になりました。前職は、高齢者の介護をしていました。どうぞよろしくお願い致します。